

PRESS RELEASE

「トムソン・ロイター引用栄誉賞」選出の大隅 良典氏が、ノーベル医学・生理学賞を受賞！

2016年10月4日(日本時間)
東京発

クラリベイト アナリティクス(旧トムソン・ロイター IP & Science、本社：米国フィラデルフィア、日本オフィス：東京都港区)は、毎年9月に学術文献・引用索引データベースWeb of Science™ Core Collectionの論文・引用データを基に、「トムソン・ロイター引用栄誉賞」(ノーベル賞候補者予測)を発表しています。

本年のノーベル医学・生理学賞は、東京工業大学の大隅良典氏に決定しました。大隅良典氏は、2013年の引用栄誉賞を受賞しています。

<医学・生理学>

東京工業大学 栄誉教授(科学技術創成研究院)

大隅 良典 氏

トムソン・ロイター引用栄誉賞授賞理由:

「オートファジーの分子メカニズムおよび生理学的機能の解明」



トムソン・ロイター引用栄誉賞は、学術論文・引用データの分析により、ノーベル賞クラスの高い実績を持つ研究者を讃える目的で発表されています。2002年より毎年の発表が恒例化されていますが、本章を受賞された研究者のうち、ノーベル賞を受賞したのは大隅氏を含む40名となり、日本人では2012年の山中伸弥氏(医学・生理学賞)、2014年の中村修二氏(物理学賞)に次いで3人目となります。

【引用アナリスト デービッド・ペンドルベリーのコメント】

大隅氏のノーベル賞医学・生理学賞の受賞にお祝いを申し上げます。

論文情報の引用からも、過去25年における大隅氏のオートファジーのメカニズムに関する研究の重要性と影響は、はっきりと見てとれます。大隅氏は数多くの高被引用論文を発表していますが、なかでも1,000回以上の被引用数を持つものが5報あり、これはWeb of Science Core Collectionの中でも上位0.03パーセントにランクされる非常に影響力が高い論文です。このことから大隅氏の功績はまさに引用栄誉賞にふさわしく、そして実際にノーベル賞を受賞されたことを大変喜ばしく思います。

重ねまして、大隅氏の偉大な業績と、また日本に新たなノーベル賞科学者が誕生したことに、心からのお祝いを申し上げます。

《この件に関するお問い合わせ》

クラリベイト アナリティクス(旧トムソン・ロイター IP & Science) 担当:熊谷・遠藤

〒107-6119 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル19階

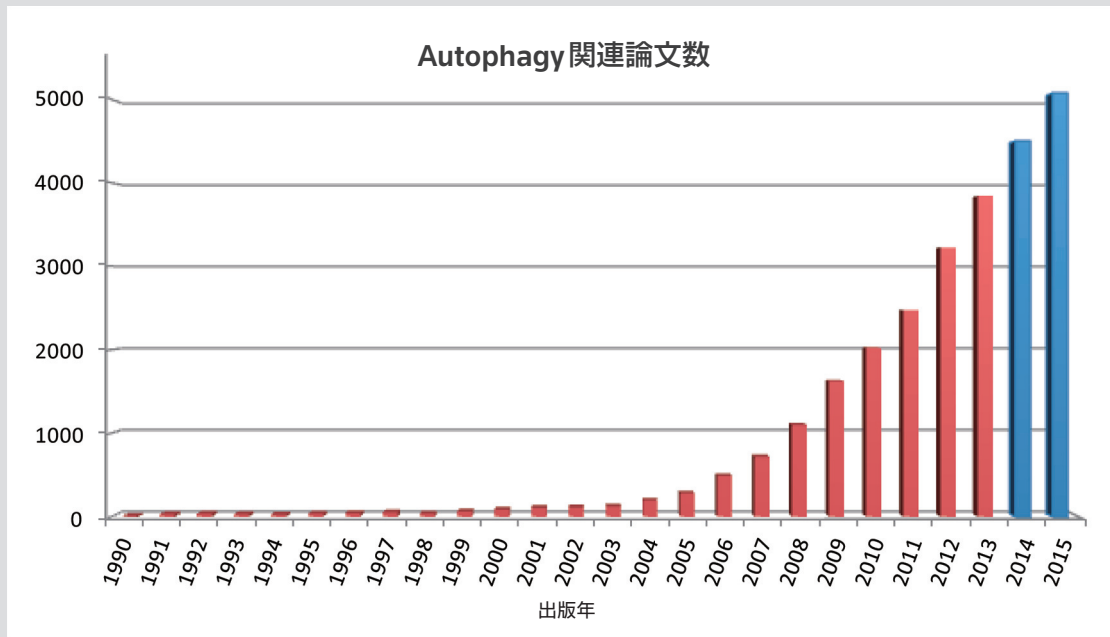
TEL: 03-4589-3102 FAX: 03-4589-3240

Email: miki.kumagai@thomsonreuters.com

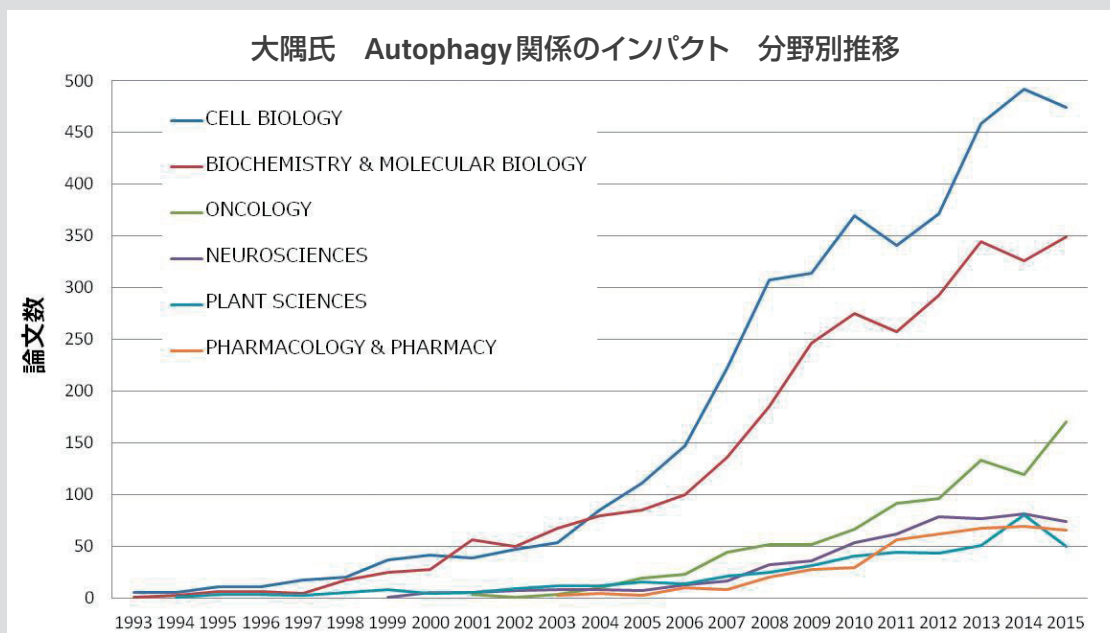
Web: ip-science.thomsonreuters.jp

**Clarivate
Analytics**

Formerly the IP & Science
business of Thomson Reuters



【図1】Autophagy 関連の論文は、2013年に大隅氏が選出された時点でも急激に増加していましたが、その後の2年間でさらなる大きな伸びが見られます。出典：Web of Science(2016年10月4日現在)



【図2】大隅氏のAutophagy 関連の論文を引用した論文の影響は、ライフサイエンス分野全体に及んでいることがわかります。Cell Biologyなどの比較的基礎的な部分から始まり、がん、神経科学、薬理など年代が近づくにつれてより応用的な分野からの引用が高まっていることが明らかになっています。出典：Web of Science(2016年10月4日現在)

《この件に関するお問い合わせ》

クラリベイト アナリティクス(旧トムソン・ロイター IP & Science) 担当:熊谷・遠藤
 〒107-6119 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル19階
 TEL: 03-4589-3102 FAX: 03-4589-3240
 Email: miki.kumagai@thomsonreuters.com
 Web: ip-science.thomsonreuters.jp

**Clarivate
Analytics**

Formerly the IP & Science
business of Thomson Reuters

「トムソン・ロイター引用栄誉賞」に選出された日本人研究者のリスト

› <http://ip-science.thomsonreuters.jp/citation-laureates/laureates-jp/>

トムソン・ロイター引用栄誉賞とノーベル賞の相関性

- 2011年ノーベル賞において、該当4分野(医学・生理学、物理学、化学、経済学)で受賞された9名すべてが、過去この「トムソン・ロイター引用栄誉賞」にノミネートされています。
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/press/release/2011/Nobel-Success/>
- 2013年ノーベル賞では、科学4部門すべてに、過去トムソン・ロイター引用栄誉賞を受賞した研究者が含まれていました。
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/press/release/2013/Nobel-Success/>

今年のトムソン・ロイター引用栄誉賞プレスリリース

› <http://ip-science.thomsonreuters.jp/press/release/2016/nobel-laureates/>

トムソン・ロイター引用栄誉賞の選考基準

「トムソン・ロイター引用栄誉賞」は、過去20年以上にわたる学術論文の被引用数に基づいて、各分野の上位0.1パーセントにランクする研究者の中から選ばれています。主なノーベル賞の分野における総被引用数とハイインパクト論文(各分野において最も引用されたトップ200論文)の数を調査し、ノーベル委員会が目指すと考えられるカテゴリ(物理学、化学、医学・生理学、経済学)に振り分け、各分野で特に注目すべき研究領域のリーダーと目される候補者が決定します。

ベースとなるデータ: Web of Science Core Collectionとは

本賞は、世界最高水準の学術文献引用データベース「Web of Science Core Collection」に基づき、医学/生理学・化学・物理学・経済学の各ノーベル賞4分野において最も影響力があった研究者を分析・発表しています。

ノーベル賞受賞者の論文・引用データにご興味ございましたら本件問い合わせ先までご連絡ください。

クラリベイト アナリティクス(旧トムソン・ロイター IP & Science)について

クラリベイト アナリティクスは、世界中のお客さまに信頼の置ける知見や分析を提供することでイノベーションを加速させ、新しいアイデアのより迅速な発明・発見、保護、事業化を可能にします。トムソン・ロイターのIP & Science事業を前身とする弊社には、60年以上にわたりお客さまを支援してきた実績があります。今後は4,000人以上の従業員を擁し、世界100カ国以上で事業展開する独立会社として、引き続き専門性、客観性、迅速性を発揮していきます。詳しくはClarivate.comをご覧ください。

クラリベイト アナリティクス 日本代表 長尾正樹

《この件に関するお問い合わせ》

クラリベイト アナリティクス(旧トムソン・ロイター IP & Science) 担当:熊谷・遠藤
〒107-6119 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル19階
TEL: 03-4589-3102 FAX: 03-4589-3240
Email: miki.kumagai@thomsonreuters.com
Web: ip-science.thomsonreuters.jp

**Clarivate
Analytics**

Formerly the IP & Science
business of Thomson Reuters